

誰一人取り残されることのない中野に

6月22日、令和4年区議会第2回定例会の開会に当たり酒井直人区長は、今後4年間の区政運営に向けて所信を表明しました。その概要をお知らせします。

「オール中野で取り組みを進めます」

前回就任後の4年間で、子どもの権利に関する条例の制定、子ども・若者支援センターと児童相談所の開設、待機児童数ゼロの実現など、中野を「子育て先進区」にしていくための基礎を築きました。

一方で、子育てしやすい環境は、いまだ十分でないことを実感。子育て・子育ての問題は、地域全体の課題につながっていることも改めて認識しました。

「子どもにやさしいまち」、「困っているひとにやさしいまち」は、「誰にとっても住みやすいまち」だと考えます。これからの4年は、「中野区基本構想」で目指すまちの実現に向けて、特に子育て支援に重点を置きながら、区民や団体、事業者のみならずと一緒に、オール中野で取り組みを進めます。

今後、まち・社会・暮らしが大きく変化していく中で、子どもたちを始め、誰もが安心して暮らし、活躍できる中野を築き、区がSDGsに貢献できるよう施策や事業の成果を着実に上げ、未来への責任を果たしていきます。



▲6月22日、区議会第2回定例会で

1 「子どもにやさしいまち」へ

地域全体で子育てを応援するための体制を整備

- ・児童相談所の対応体制を強化し、お子さんやその家族を支援
- ・産後ケア事業の改善・拡充
- ・1歳以降の多胎児への支援を拡充

児童館の事業展開・運営方法の再検討

- ・学童クラブ移転後のスペースを活用した新たな機能の具体策を明示
- ・一時預かり事業、相談支援機能を拡充

子どもの遊び場を拡充

- ・子どもたちの意見も参考に、公園の利用ルールの見直しや遊具の更新を実施
- ・プレーパーク活動を支援し、常設の施設を設置
- ・中野駅周辺に子どもの遊び場となる施設を誘致

教育の充実

- ・教員のサポートや、子どもたちのインターネットを適切に利用できる能力を高める取り組みを推進
- ・習熟度に合わせた効果的な学習を支援
- ・学童クラブや児童館などでタブレットを利用できる環境を整備
- ・図書館等の蔵書を更に充実
- ・地域全体で子育てを応援する「コミュニティ・スクール構想」を推進
- ・発達の課題や障害のあるお子さん、医療的ケアが必要なお子さんへの支援を推進

2 「困っているひとにやさしいまち」へ

今後の新型コロナウイルス感染症対策

- ・ワクチンの4回目接種を着実に推進
- ・生活に困窮している世帯への支援を適宜実施し、包括的支援を検討
- ・保育サービスを利用せずに養育している家庭を支援
- ・物価高騰による経済と生活への影響を見極め、必要な対策を実行

一人でも安心して暮らし続けられる中野を実現

- ・「中野区地域包括ケア総合アクションプラン」に基づいた取り組みを具体化
- ・在宅医療介護連携を図り、かかりつけ医を推進
- ・医療や介護人材を確保する取り組みを検討
- ・すこやか福祉センターの体制を見直し・強化
- ・地域包括ケアを進めるためのコンソーシアム（共同事業体）の設立を検討
- ・コミュニティ交通の導入を検討

子どもの貧困対策

- ・学習支援事業や子ども食堂の支援を拡充
- ・生活や就労を支援する「ひとり親コンシェルジュ」の設置を検討するなど、ひとり親家庭への支援を強化
- ・別居中や離婚前の家庭への経済的支援などを検討

ヤングケアラーへの支援

- ・調査、聞き取りなどで実態を把握
- ・専門職間の連携を強化

3 「安全で活力のあるまち」へ

新たな文化・芸術の発信拠点

- ・中野駅周辺の再開発とエリアマネジメントを実現
- ・文化・芸術振興基本方針、景観条例を策定・制定
- ・文化・芸術活動団体を支援
- ・中野駅新北口駅前エリアに整備するシンボルタワーや多目的ホールを文化・芸術の象徴的な場所に

西武新宿線沿線のまちづくりを推進

- ・新井薬師前駅・沼袋駅周辺地区のにぎわい創出等
- ・野方駅、都立家駒駅、鷺ノ宮駅の各駅周辺地区でのまちづくりを検討

多文化共生の取り組み

- ・意識啓発の他、地域社会への参画などを支援
- ・生理用品の無料配布などジェンダーギャップを解消するための取り組みを推進
- ・パートナーシップ宣誓条例を検討

経済とまちの活力を回復

- ・キャッシュレス対応の強化、ビッグデータの活用による商業振興
- ・区民の公益活動の活性化を支援

防災まちづくり

- ・不燃化の促進と防災まちづくりを推進
- ・関係機関と連携した防災訓練を実施
- ・感染症と水災害・地震災害などの複合災害への備えを充実

「2050ゼロカーボンシティなかの」の実現

- ・家庭での取り組みを促進
- ・区有施設の電力を全て再生可能エネルギーで調達

4 持続可能な区政運営の確立

構造改革を推進

- ・環境や地域社会、健康、経済などあらゆる場面において、将来にわたって機能を失わずに続けていくことができる「サステナビリティ（持続可能性）」を重視
 - ・DX（※）を推進し、区民サービスの向上と業務変革を実施
- ※DX＝デジタルトランスフォーメーション。デジタル技術によるより豊かな生活への変革

新たな財政運営の確立

- ・財政状況の捉え方や予算編成手法、基金の積立ての考え方などを見直し、新たな財政運営方法を確立
- ・職員の調査・分析技能を高め、EBPM（根拠に基づく政策立案）を推進
- ・専門性や実務力を有する外部人材を積極的に登用
- ・ボトムアップによる区政運営を確立

5 対話に一層努めます

- ・区政の情報発信力を向上
- ・タウンミーティングを充実するなど対話を促進
- ・「巻き込み型のリーダーシップ」を発揮

全文をご覧になりたい方は

区長施政方針説明の全文は、[区HP](#)でご覧になれます。



▲区HP

